

▼昭和55年倉庫火災の体験を語り継ぐ講師



ベテランから若手へ伝承 消防職員向け講座

7日、DAIWA防災学習センター（市防災学習センター）で、消防職員を対象に、大火災や自然災害を経験したベテラン職員が後輩たちへ災害対応とその心構えを伝承する講座が行われました。本年度退職予定の職員が講師となり、「昭和55年倉庫火災」や「東海豪雨」を振り返り、災害状況や、経験を踏まえての教訓、最前線での活動で得られた経験などを後輩たちへ語り継ぎました。

▼職員から申告方法を教わる受講者(手前)



スマホを使って待ち時間ゼロへ スマホで確定申告講座

5日、市役所税務課窓口でスマホを使った確定申告講座がスタートしました。この講座は申告会場の混雑緩和や、自宅での申告促進のために行われ、職員が受講者に対し実際にスマホを使用しながら申告方法をマンツーマンで指導しました。講座は令和3年1月6日までの毎週月・水曜日（閉庁日除く）に実施しています。詳細は市ホームページをご確認ください。

▼語りを務めるおおぶ文化交流の社 図書館サポーターズのメンバー



ふじのみやだいまょうじん おみきへいし 「藤井宮大明神の御神酒瓶子」 創作民話紙芝居完成お披露目会

18日、アローブで創作民話紙芝居「藤井宮大明神の御神酒瓶子」の完成お披露目会が開催されました。「藤井宮御酒瓶子」は市にある三つの県指定文化財の一つで、紙芝居は瓶子が出土した経緯などが紙芝居作家のあいばまさやすさんによって描かれています。創作民話紙芝居を企画した鷹羽隆平さんは「今後も紙芝居を上演できる場を設けていき、地元の方々と文化財への共通認識をつくっていきたい」と話しました。

▼市民から食品を受け取る「あそびのいっぽ」代表者の大橋房代さん



もったいないをありがとうに フードドライブイベント開催

13日、横根公民館でフードドライブイベントが行われました。フードドライブとは、家庭で不要な未開封食品を寄付してもらい、必要としている方に届ける活動のこと。10月は食品ロス削減月間ということもあり、「もったいないをありがとうに」を合言葉に今回のイベントが企画されました。今回寄付された食品は、子育て支援サークル「あそびのいっぽ」から市内のひとり親家庭などに届けられます。

スポーツからつながる大府との輪

大府でテニス講師をしているバヌアツ出身のロロさん。バヌアツはフィジーの近くの83の島からなる国で、100以上の言語が使われ、公用語は英語とフランス語です。

高校時代、スポーツ留学によりフィジーで5年間、テニスをしていたほどの腕前のロロさん。オーストラリアのテニスアカデミーにも所属しており、コーチの奥さんが日本人だったことで、多くの日本人選手とテニスをしたそうです。アカデミーを退所し、現役引退後は別の道に進みましたが、元コーチから「日本でテニスを教えないか」と誘われ、5年前に大府にやってきました。

そんなロロさんは、日本のことをすっかり気に入り、日本の自然と食べ物(特にすし)が大好きなんだそうです。また、日本人の正直さ、礼儀正しさ、お互いに敬意を払う姿勢が日本の良さと感じています。そそかしい性格だというロロさんは「これまでに何度も携帯などをなくしたことがあり、そのたびにちゃんと警察に届けられていて感激しました」と話します。



▲今もテニスを教えるロロさん

単一民族国家といわれる日本ですが、いろいろな国の人が住むようになり、ロロさんのようにさまざまな縁で来日しています。11月15日回の午前10時から市役所地下多目的ホールで市国際交流協会主催の講演会「大府市の外国人を知ろう」が開催されます。私を含め、大府で働く3人の外国人がスピーチをします。ぜひ聞きにきてください。

大府市国際交流員
ケビン・ハンフリーズ



郵便はがき

4 7 4 8 7 9 0

大府市中央町五丁目70番地

差出有効期限
2021年4月30日まで
(切手を貼らずに
お出してください)

大府市役所
広報広聴課 行



広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢 / 歳 性別 / 男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。
ご意見をお聞かせください。

広報広聴課 ☎(45)6214

「みんなの声」使い方

- 1 広報紙から切り取ってください。
- 2 アンケート欄に記入してください。
- 3 半分に折り内側全面をのり付けしてください。
- 4 ポストに投函してください。

Q1 今回の広報おおぶで、文字・色・構成などについて、見やすいと思った記事、見にくいと思った記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

見やすい() 見にくい()

理由

Q2 今回の広報おおぶで、面白い・役に立った記事、そうでなかった記事とその理由をお聞かせください。(下表の番号を記入してください。複数回答可)

面白い・役に立った()
そうでなかった()

理由

Q3 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

1195

【この号の内容】 ①表紙 ②マンガ広報 ③特集「STOP! 農地の違反転用」 ④フォトNews ⑤新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ ⑥市政News ⑦情報パック ⑧The Kevin Report ⑨学び舎探訪 ⑩給食5つ星レシピ ⑪夢キラリ人 ⑫その他



学び舎探訪

東山小学校 1年生の読み聞かせ講座(9月23日)

東山小学校で1年生を対象にした絵本の読み聞かせ講座が行われました。

絵本店を営んでいた倉地ひろみさんが、季節の生き物が登場する絵本や目で見て楽しい絵本など、子どもたちに合わせて選んだ4冊の絵本を音読しました。子どもたちは倉地さんの声に集中し、真剣な顔で聞き入っていました。倉地さんが絵本を読み終わった後、子どもたちは「頭の中は本当に柔らかいの?」「お空は何でいろんな色に変化するの?」とそれぞれが抱いた素朴な疑問を投げ掛けていました。

これからたくさんの本を読んで、いろいろなことを学んで、教養を深め、豊かな心を育ててほしいです。



給食 5つ星 レシピ

すき焼き風煮

野菜は家にあるもので代用しても大丈夫です。肉の味が野菜や豆腐に染み込んでおいしいですよ。

材 料 (4人前)

ハクサイ	2枚	干しシイタケ	2個
焼き豆腐	1/2丁	しょうゆ	大さじ2強
豚肉	120g	砂糖	大さじ2強
糸こんにゃく	80g	サラダ油	大さじ1
ニンジン	1/2本		
ネギ	1本		

作 り 方

- ① 焼き豆腐、ネギは食べやすい大きさに、ハクサイは2~3割に切る。
- ② ニンジンは短冊切り、干しシイタケは戻してせん切りにする。
- ③ 糸こんにゃくは食べやすい長さに切り、茹でる。
- ④ サラダ油を熱し、豚肉を炒め、色が変わったら糸こんにゃく、干しシイタケ、ニンジンを順に入れて炒め、調味料を加える。材料が柔らかくなったら焼き豆腐、ハクサイ、ネギを加え煮る。
- ⑤ 味を調べ、仕上げにごま油を加える。

人への想いや命の輝きを描いていきたい



鈴木文香さん(神田町)

森岡町にあるネットワーク大府「レストランこもれび」で、自身初となる切り絵展を開催した鈴木文香さん。介護福祉士と保育士としての仕事をしながら、少しずつ時間をかけて作り上げた作品約30点を展示しました。「大府で切り絵展を開催できたらいいな」と思っていました。友人が私の作品を大勢の人に見てもらえるようにとネットワーク大府の理事さんに掛け合ってくれて、こうして実現することができました。私の活動を応援しています」と個展初開催までの経緯を話します。個展には多くの人が訪れ、「見に来てくださった方からアドバイスやお褒めの言葉をいただき、ますます頑張ろうと今後の制作への活力につながることでできました」と感謝の気持ちを話します。

鈴木さんが初めて切り絵を制作したのは14歳のとき。「大好きな姉の結婚祝いにサプライズで白無垢姿の切り絵をプレゼントしました。とても喜んでくれてうれしかった気持ちが、私が切り絵を作る根底にあるのかもかもしれません」と話します。本格的に切り絵を始めたのは9年前で、切り絵を教えてくれる先生に出会い、技術を一から学びました。「習い始めて3作目ぐらいでしたが、先生に勧められてコンクールに出品した作品が入選しました。そのことが自信につながり、切り絵の世界が広がったのか

もしれないです」と話します。それからのめり込むように切り絵の制作に励み、数々の日本や海外のコンクールで入選し、その才能を開花させます。

「めいの結婚祝いの切り絵は、式を挙げた富士山の麓にある浅間神社を舞台に、二人の前途を祝ってつがいの鶴亀や桜など縁起の良いものをたくさん詰め込みました。私の作品にはそれぞれモデルがいて、その人の幸せを願って作ることが多いです」と話します。鈴木さんの作品は、一枚の紙が全部つながっているのも特徴。「切り絵の中に隠し絵や言葉を入れるのも好きで、気が付いたら下絵よりもたくさん切っていることがあります♡ 絵によってスパンコールを貼ったり、いろいろなもので色を付けたりと、新たな表現方法も加えています」と制作する際のこだわりを話します。

「切り絵は、人への想いや自分自身を表現するものであり、楽しくて幸せな時間を与えてくれるものです」と笑顔で話します。「今は、旅先でも普段道を歩いているアイデアがどんどんあふれてきて、早く切り絵を作りたいと思っています。私が作る切り絵には物語があるので、将来的にはそれを基にした絵本を作ってみたいです」と目を輝かせて話します。鈴木さんの人生に彩りを与えてくれた切り絵。今後も鈴木さんは想いが詰まった作品を生み出し続けます。

すっかり生活の一部になったマスク。目で気持ちを伝えることが多くなりましたが、うっかりすると冷たい印象にもなりがち。マスク越しの笑顔を送るには、顔全体を使って笑うのがコツだそう。ちょっと恥ずかしくても、マスクで隠れてしまうので大丈夫！ 寒い季節がやってきましたが、思い切り笑って、温かく、晴れやかな気持ちで過ごしたいですね。(加)